

| | |
|---|--|
| 開講科目名 Course | 国際経済論研究 (A) / International Economics (A) |
| 時間割コード Course Code | 13880 |
| 開講所属 Course Offered by | 会計学研究科博士前期課程 / |
| 開始年度・学期 Start Year・Semester | 2021年度 / Academic Year 後期 |
| 曜限 Day, Period | 他 1 |
| 開講区分 semester offered | 後期 / . |
| 単位数 Credits | 2.0 |
| 学年 Year | 1,2 |
| 主担当教員 Main Instructor | 佐藤 純恵 |
| 科目区分 Course Group | 関連科目 |
| 教室 Classroom | |
| 講義形式 Lecture Style | 講義科目 |
| 担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation) | 佐藤 純恵 (経済学部) |
| 授業の目標 | |
| 授業の概要 | <p>【授業の目標】</p> <p>本講義では、国境を越えた様々な活動の動きを通じて、国際貿易の基礎的な概念を学ぶことにより、日本経済および世界経済の直面する諸問題を理解し、それらに対する解決策を提起できるような素養を身につけることを目標とする。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>本講義を通じて国際貿易について関心を高め、国際貿易論の基礎理論を修得できるよう、具体的な事例や図解を用いながら説明を行う。</p> <p>受講者の関心や理解度、授業の進捗状況等により、シラバスの内容を変更することがある。</p> <p>履修上の注意：学部レベルのミクロ経済学を履修済みであること。履修していない場合は、学部レベルのミクロ経済学のテキストを精読しておくこと。</p> <p>【評価方法】</p> <p>レポート (100%) で評価します。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 イン트로ダクション 第2回 比較優位と分業の利益 第3回 比較優位と国際貿易 第4回 消費者余剰と生産者余剰 第5回 貿易利益 第6回 比較優位の決定要因 第7回 産業間貿易と産業内貿易 第8回 規模の経済と製品差別化 第9回 輸入関税の効果 第10回 輸入割当の効果 第11回 輸入関税と生産補助金との比較 第12回 サービス貿易の現状 第13回 多国籍企業と直接投資 第14回 労働の国際移動 第15回 貿易と環境</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| 評価方法 | |
| 教員の指導に従わない以外の事由による失格基準 | |
| 授業計画 | |
| テキスト | 指定しない |
| 参考書 | <ul style="list-style-type: none"> ・石川城太・椋寛・菊地徹『国際経済学をつかむ 第2版』有斐閣，2013年 ・浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸『はじめて学ぶ国際経済』有斐閣，2011年 ・阿部顕三・遠藤正寛『国際経済学』有斐閣，2012年 ・山形浩生・守岡桜[訳]『クルーグマン国際経済学 理論と政策 上・貿易編』丸善出版、2017年 ・N・グレゴリー・マンキュー（著），足立英之/石川城太/小川英治/地主敏樹/中馬宏之/柳川隆（訳）『マンキュー経済学 I ミクロ編（第4版）』東洋経済新報社，2019年 |
| アクティブラーニング、ディスカッション、実習等 | |
| アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容 | |
| 実務経験のある担当教員による授業 | |
| 担当教員の実務経験を活かした授業の内容 | |
| 質問への対応方法 | |
| フィードバックの方法 | |
| 予習・復習等、準備学習の内容及び時間 | |
| 使用言語 | |
| SDGs 17の目標（1～10） | |
| SDGs 17の目標（11～17） | |